

# TRAIL

## いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」  
第81号 2023年6月30日発行

いわき市産業振興部

【全国】3年振りに“緩やかな回復”！ 先行きのリスクは海外景気下振れ、国内物価上昇！

【いわき市】回復基調が一段と進展！ 先行不安は、物価上昇と人材不足！

【経済・景気四方山記事】PFSによる民間委託、100超自治体が採用！ 等7件

＜本号から紙幅を確保するため“四半期”をQと表す＞

### ■ 全国動向

●「GDP」(23年第I Q。1次速報。5/17)の今期実質値は0.4%\*1と3Qぶりにプラス。個人消費は4半期連続プラス、設備投資は2Q振りプラス。輸出は6Q振りマイナス。これで22年成長率は1.2%、コロナ前水準よりなお下回っている。

●「月例経済報告」(5月。5/25)の基調判断は、“緩やかに回復”に引き上げ。上方修正は4/7以来10か月ぶり。“回復”の表現は新型コロナウイルス感染拡大直前の同様判断。

先行きは、緩やかな回復が期待される中、“海外景気の下振れ”のリスク、“国内物価上昇”等に“十分注意”を喚起している。

\*1 2次速報値(6/8)は0.7%増(年率2.7増)に上方修正。

### 目次

全国動向：3年振りに“緩やかな回復”！ 先行きのリスクは海外景気下振れ、国内物価上昇！

いわき市の動向：回復基調が一段と進展！ 先行不安は、物価上昇と人材不足！

経済・景気四方山記事：PFSによる民間委託、100超自治体が採用！ 等7件

#### I 経済・景気調査：2023年第I四半期(1~3月)

1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ) . . . . . 3
2. 景気の動き(景気動向指数) . . . . . 9

【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き

#### II 景気ウォッチャー調査：2023年5月時点 . . . . . 15

1-3月期' GDP(%)		前期	今期
区分			
GDP(実質)		▲0.0	0.4
(年率換算)		▲0.0	1.6
主要部門別	個人消費	0.2	0.6
	民間住宅	0.2	0.2
	設備投資	▲0.5	0.1
	政府消費	0.2	▲0.0
	公共投資	0.2	2.4
	輸出	2.0	▲4.2
	輸入	▲0.0	▲2.3

注：前期はNo.80時以降の統計資料の変更を反映したもので、No.80と一致しない。

#### 月例経済報告(5月)の概要

基調判断	穏やかに回復
個人消費	持ち直している
設備投資	持ち直している
住宅投資	底堅い動き
輸出	底堅い動き
輸入	おおむね横ばい
生産	持ち直しの兆し
企業収益	改善が緩やか
雇用情勢	持ち直している
海外経済	下押しのリスク
先行き判断	緩やかな回復

### ■ いわき市の動向

20年1-3月期以降の不振は、22年6-9月期でようやく改善に転じ、22年10-12月期には回復基調に乗ったが、今期23年1-3月は、より回復基調が強まってきた。5月の「景気ウォッチャー調査」でも、“現状DI”の小売と“先行DI”の雇用以外のほとんどが上昇し、回復基調が見とれる。

#### ● 経済・景気調査

【需要動向】大型店舗等販売額は4Q連続、自動車登録台数は3Q連続で、それぞれ前年水準を上回った。対して新設住宅着工戸数と公共工事等受注額はともに2Q連続でそれぞれ前年水準を下回った。観光施設利用者は“旅行支援策”で5Q連続で前年水準を上回っている。

【企業動向】中央卸売市場取扱高は6Q連続、小名浜輸入通関実績は7Q連続でそれぞれ前年水準を上回った。企業倒産は3件あったが、企業倒産負債総額は比較的少なく済んだ。

【雇用動向】新規求人倍率と有効求人倍率はともに3月は低下したが雇用保険受給者数は減少しており、雇用環境は落ち着いている。

#### ● 景気ウォッチャー調査(23年5月時点)

全業種の“現状DI”は前回より7.0ポイント上昇。部門別には小売を除くほとんどが上昇。特に飲食の上昇が大きい。“先行きDI”は前回より5.1ポイント上昇。雇用以外のすべてが上昇している。“自由意見”では、人流・物流の動きを好感する向きと、物価上昇と人材不足を懸念する向きがない交ぜとなっている。

いわき市の動向(1-3月期)

区分		前年同期比
需要動向	個人大型店舗販売	1.7%
	自動車登録	10.9%
	建築新設住宅	▲41.2%
	公共工事	▲67.6%
企業動向	観光需要	42.0%
	卸売市場取扱	9.4%
	輸入通関実績	48.6%
雇用	法人市民税	9.3%
	企業倒産件数	3件
	新規求人倍率	1.74倍
	有効求人倍率	1.34倍

注：項目名は略記。雇用は3月。

景気ウォッチャー調査抜粋('23/5)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	差	今回	差
全業種	53.1	7.0	56.9	5.1
家計	57.4	7.4	61.3	6.3
小売	43.5	▲3.9	58.7	3.4
飲食	83.3	20.8	79.2	4.2
サービス	68.3	16.4	56.7	2.9
住宅	57.1	7.1	64.3	14.3
企業	42.2	6.8	45.3	5.7
雇用	45.0	5.0	50.0	▲5.0

(産業チャレンジ課)

## ■ 経済・景気四方山記事

(記事内容に元の情報の要約・意訳や筆者所感を含む)

### ● PFSによる民間委託、100超自治体が採用！

自治体が委託した事業の成果に応じて報酬を支払う成果連動型民間委託方式（【解説1】）を導入するところが増えてきた。R4年度末で100件・82団体に及んでいる。関連し国は、23年度から成果連動部分の半額を補助（上限あり）するなど採用自治体の拡大を期している（2/26「日経新聞」）

### ● 快走できないデマンド交通！

路線バスの不採算路線や廃止路線の代替としてデマンド交通の導入機運が高まっている（20年現在573件）。だが、既存のバス・タクシー会社との利害衝突が激しい、条件不利地域では運賃だけは賄えない、などの課題がある。交通体系の設計も不十分で、実験止まりや運行後のつまずきも多い。今後も導入機運が高まっているなか、具体化には自治体の調整能力が試される。（3/14「日経新聞」）

### ● 特定技能外国人の長期就労可能分野が拡大！

19年、深刻な人手不足対策として、6月にも“特定技能”の“2号”が、在留期間制限なし、家族帯同可能に拡充されることになる。対象も12分野に広がる。これが現状の労働力不足にどの程度寄与するかは定かではないものの、首都圏の人材争奪戦が本市に及ぶにはまだ間があるとはいえ、「外国人との共生社会づくり」などを進めておくべきである。（4/25「日経新聞」。本誌22/12第79号参照）

### ● “サブリース方式”で空き家再生！

全国の空き家は約880万戸（H30/10総務省）に達している。このなかで全国的に珍しい“サブリース方式”の空き家対策が紹介された（名古屋市）。この方式は、市や企業が持ち主から空き家を借りて改築やテナント募集や貸料の持ち主への支払いを行うもの（一部委託がある）。市の介在で信用力が生まれ、事業が持続的に進み、賑わいの拠点が形成できる。この方式が、本市の“第二次空き家等対策”の参考になるといい。（5/2「日経新聞」）

### ● 東京の“夜間経済”振るわず、戻らぬ光！

22年春以降の東京の繁華街の落ち込みが激しい。衛星画像分析による繁華街の光量はコロナ前に比べ15%減、人出も20%減と、コロナ前に戻っていない。これは、在宅勤務の増加のほか、付き合いなど儀礼的な飲食の縮小、二次会への無関心などによる。かねてから日本の都市は夕食後を楽しめるコンテンツが少ないといわれるが、これを機会に、従来とは異なる視点で夜間経済（【解説2】）の振興を考える動きが出ている。本市田町等においても、酔客中心から家族連れや訪日外国人等多様な人が楽しめる街へ作り替えなければ持続しないのではないかと。（5/7「日経新聞」）

### ● 出社回帰、対面の重要性再認識！

新型コロナ禍の5類移行で、企業は働き方のルール変更に動いている。コロナ禍中ではテレワーク（TW）が進み、一時は東京圏の人口減少にまで及んだが、TWの低生産性やコミュニケーション重視等から出社回帰が増加している。TW実施率は32%（20/5）が17%（23/1）に減少、一方でコロナ禍収束後もTWを行うか、については45%と、1年前より10%上昇している（日本生産性本部）。東京圏に近い本市は、在宅勤務の受け皿になるため、今後の動向が気になる。（5/9「日経新聞」。本誌第78号22/9、第70号20/9参照）

### ● 【いわき市発】市がデジタル人財の育成に向け連携協定締結！

いわき市は、3月15日、デジタル人財の育成に向け、（公財）日本数学検定協会と㈱データミックスとの間でデータサイエンスに関する連携協定を締結、また、5月26日、会津大学と産業振興に関する基本協定を結んだ。今後は、これらの協定に基づき、デジタル人財の育成や中小企業等のデジタル化など経営の高度化に取り組むことになる。（6/6いわき市産業チャレンジ課）

\*\*\*\*\*

#### 【解説1】成果連動型民間委託方式（PFS）

PFS=Pay for Success。成果型民間委託方式。自治体が、行政課題解決の成果指標を示し、これを受託した民間事業者の事業成果に対し、設定した成果指標を上回る成果があればその分の報酬を上乗せして支払う。

#### 【解説2】夜間経済

夜間経済は、飲食、宿泊、交通、体験を楽しむコト消費など幅広く、経済効果も大きい。マレーシアの田舎町のホテルですらナイトショーが用意されていて感心したことがある。

\*\*\*\*\*

（東日本国際大学名誉教授 大川信行）

# I 経済・景気調査：令和5年第 I 四半期（1～3月）

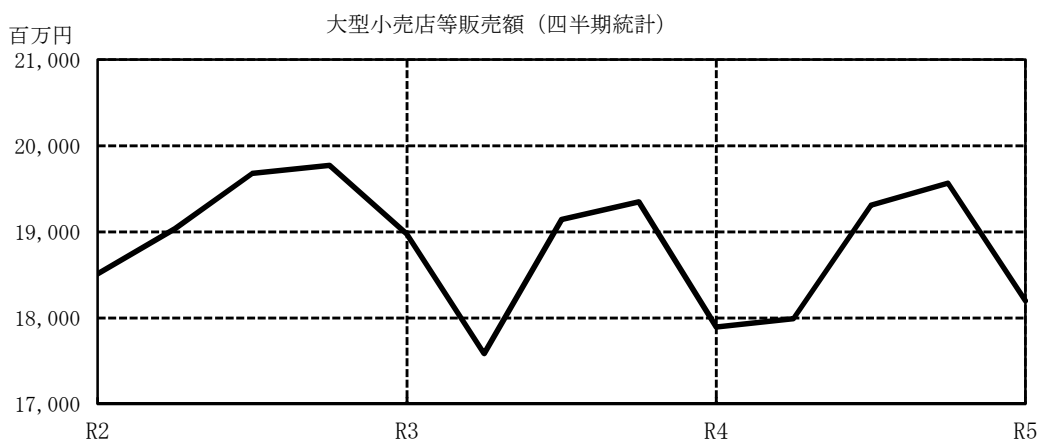
## 1 いわき市の経済の動き

### （1） 主要部門の動向（令和5年第 I 四半期（1～3月）の状況）

#### ① 需要動向

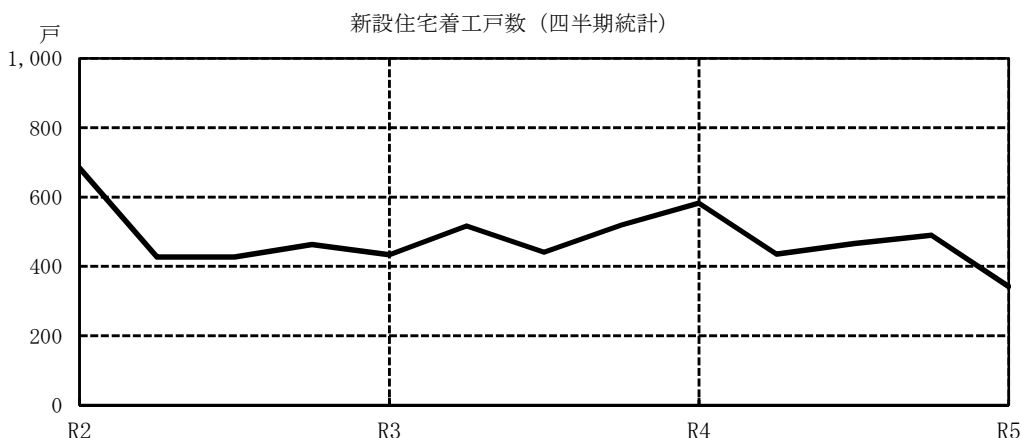
【個人消費】 ○ 第 I 四半期（1～3月）の大型小売店等販売額は約182億円（前年同期比1.7%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は5,098台（前年同期比10.9%の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は342戸（前年同期比41.2%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

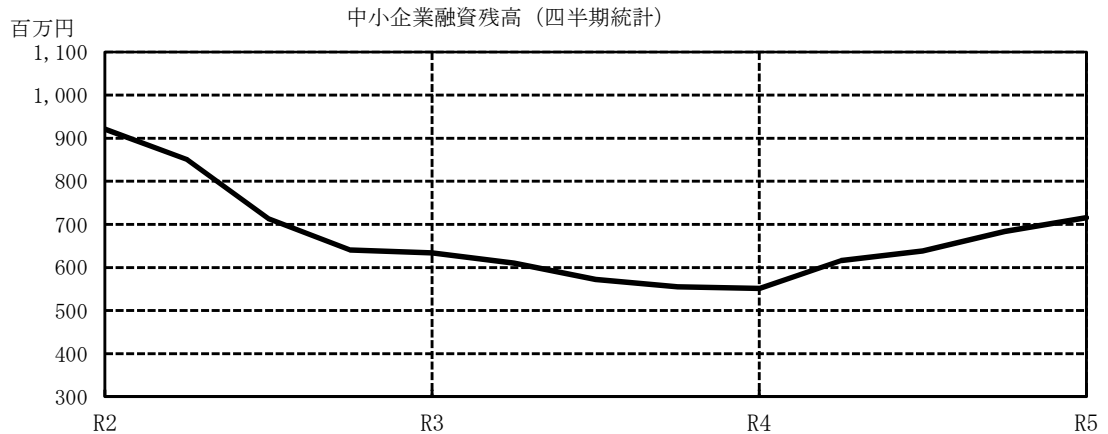
○ 公共工事等受注額は約34億円（前年同期比67.6%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。



【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、61.7（前年同期比42.0%の上昇）となり、5四半期連続で前年の水準を上回った。

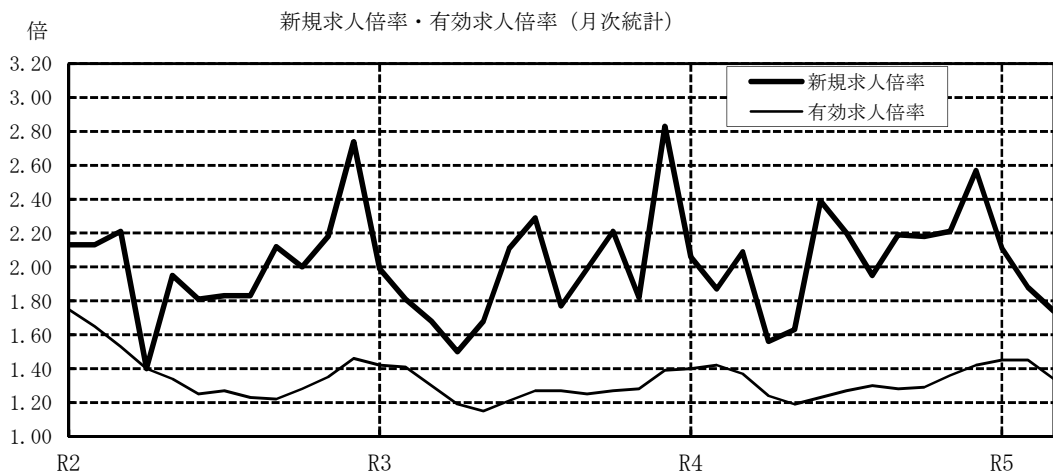
## ② 企業動向

- 【生産活動】 ○ 第 I 四半期（1～3月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約34億円（前年同期比9.4%の増加）となり、6四半期連続で前年の水準を上回った。
- 【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約7.2億円（前年同期比29.9%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。
- 負債1千万円以上の企業倒産件数は3件（前年同期比25.0%の減少（=改善））となり、3四半期振りに前年の水準を下回った。



## ③ 雇用情勢

- 【雇 用】 ○ 3月の新規求人倍率は1.74倍（前年同月より0.35ポイントの低下）となり、3ヵ月振りに前年の水準を下回った。
- 3月の有効求人倍率は1.34倍（前年同月より0.03ポイントの低下）となり、14ヵ月振りに前年の水準を下回った。
- 第 I 四半期（1～3月）の雇用保険受給者実人員は3,220人（前年同期比0.9%の減少(=改善)）となり、令和3年第 I 四半期以来、9四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向														
	個人消費				建設需要						観光需要				
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	(H24・四半期平均=100)	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
年月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)		(%)	(人)	(%)	
【年次統計】															
平成30年	77,103	-3.4	20,332	-1.7	2,417	-29.9	1,292	-11.9	23,677	-44.7	395	-0.8	678,555	-2.5	
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6	
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8	
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3	
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3	
【四半期統計】															
令和3年 II	17,586	-7.6	3,745	11.9	517	21.1	273	15.2	6,251	-21.7	36.6	238.2	50,519	61.4	
III	19,144	-2.7	3,597	-21.5	441	3.3	270	-6.3	13,313	42.4	47.4	-28.7	85,941	54.7	
IV	19,347	-2.1	3,435	-24.4	519	12.1	255	2.8	15,028	-7.7	61.6	-1.6	107,458	-4.0	
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0	
II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3	
III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8	
IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4	
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3	
【月次統計】															
令和3年4月	5,743	-7.1	1,276	13.5	175	6.1	84	5.0	1,739	138.1	11.2	474.4	16,285	-20.3	
5月	6,047	-6.0	1,187	39.5	165	150.0	86	30.3	1,505	-33.0	13.0	1,789	16,890	119.5	
6月	5,796	-9.7	1,282	-6.6	177	-9.7	103	13.2	3,007	-39.9	12.3	51.0	17,344	446.4	
7月	6,389	-0.2	1,351	-9.0	147	-3.3	90	-4.3	4,989	56.5	21.0	20.4	27,955	217.7	
8月	6,691	-5.1	1,082	-13.0	154	4.1	80	-15.8	2,844	6.6	16.7	-37.9	33,102	81.2	
9月	6,064	-2.6	1,164	-37.3	140	10.2	100	1.0	5,480	56.8	9.6	-56.3	24,944	-12.5	
10月	6,108	-1.8	1,009	-38.2	186	6.9	88	1.1	10,798	158.9	17.8	-11.7	33,000	-6.9	
11月	5,855	-2.5	1,342	-15.5	119	-22.7	87	8.7	1,029	-49.5	21.6	-8.3	34,851	-7.5	
12月	7,384	-2.1	1,084	-17.9	214	58.5	80	-1.2	3,201	-68.2	22.2	17.4	39,607	2.0	
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8	
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7	
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9	
4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8	
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3	
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6	
7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8	
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4	
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7	
10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3	
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3	
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5	
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6	
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7	
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6	
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市民 税課		

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合、速報値を含む。  
 四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
					(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
平成30年	13,933	-0.9	378,337	18.3	1,155	-4.3	2.04	0.1	18,640	18.1	602	21.6	5,111	10.9
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
【四半期統計】														
令和3年 II	3,287	6.8	77,893	-12.7	610	-28.2	2.18	-0.02	7,023	-74.6	19	-83.4	1,223	-14.7
III	3,422	-4.6	106,699	29.4	572	-19.8	1.82	-0.38	6,050	-71.6	42	-70.3	862	-23.4
IV	4,221	4.1	101,305	34.7	555	-13.4	2.20	0.00	5,224	-58.9	46	-26.1	836	-23.9
令和4年 I	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	459	17.1
II	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	1,199	-2.0
III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	726	-15.7
IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
【月次統計】														
令和3年4月	1,133	16.7	25,825	-12.4	622	-30.0	2.20	0.00	3,559	-7.1	0	-100.0	110	-35.3
5月	1,104	6.3	24,688	-25.4	611	-29.6	2.20	-	1,289	-87.4	0	-100.0	293	-2.6
6月	1,051	-1.7	27,380	2.5	599	-24.7	2.15	-	2,175	-84.0	19	-	820	-14.8
7月	1,259	2.8	28,733	-2.8	579	-21.8	2.20	-	2,039	-78.5	13	-11.6	422	-34.7
8月	1,128	-10.4	33,659	60.7	584	-18.5	1.55	-0.65	1,420	-77.7	7	-	340	-1.5
9月	1,035	-6.1	44,307	38.6	553	-19.1	1.70	-0.50	2,591	-52.0	22	-82.6	100	-25.2
10月	1,141	0.0	42,892	31.3	540	-18.1	-	-	1,290	-69.8	0	-100.0	78	-29.8
11月	1,202	18.9	26,434	3.3	566	-11.6	2.20	-	1,538	-57.8	5	-58.5	703	-23.2
12月	1,877	-1.3	31,979	88.5	560	-10.1	2.20	0.00	2,396	-50.0	41	16.5	55	-24.2
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	111	32.4
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	132	8.4
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	216	15.9
4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	114	3.5
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	283	-3.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	802	-2.2
7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	342	-18.9
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	295	-13.2
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	89	-10.6
10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関	いわき市産業チャンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）			

（注）-は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
平成30年	15	66.7	9,581	317.5	-	-	-	-	-	-
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和3年 II	2	0.0	165	200.0	-	-	-	-	-	-
III	2	-50.0	545	74.1	-	-	-	-	-	-
IV	4	33.3	467	147.1	-	-	-	-	-	-
令和4年 I	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
II	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和3年4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	2	100.0	165	534.6	-	-	-	-	-	-
6月	0	-100.0	0	-100.0	0.0	-10.0	-37.5	-54.6	-20.0	-17.7
7月	1	-	260	-	-	-	-	-	-	-
8月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
9月	1	-50.0	285	26.7	-18.5	-20.0	-25.0	-60.0	-66.7	-32.8
10月	2	100.0	116	28.9	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	351	254.5	-	-	-	-	-	-
12月	0	-	0	-	3.0	-22.2	-20.0	-33.3	-30.0	-12.7
令和4年1月	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
7月	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇用						その他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
平成30年	2.21	0.09	1.62	0.03	13,079	-7.1	10,170	-16.1	-	-	-	-	-
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	-
【四半期統計】													
令和3年 II	-	-	-	-	3,791	-1.0	1,787	16.7	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	4,011	-12.0	1,806	-11.5	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,513	-9.2	2,033	-1.7	-	-	-	-	-
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-	-
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-	-
【月次統計】													
令和3年4月	1.50	0.10	1.19	-0.21	1,244	7.1	610	24.9	-	-	-	-	-
5月	1.68	-0.27	1.15	-0.19	1,196	2.9	573	27.4	48.8	43.4	53.6	48.0	-
6月	2.11	0.30	1.21	-0.04	1,351	-10.4	603	1.7	-	-	-	-	-
7月	2.29	0.46	1.27	0.00	1,357	-13.2	664	-1.1	-	-	-	-	-
8月	1.77	-0.06	1.27	0.04	1,374	-9.2	579	-16.2	36.6	45.6	41.7	38.9	-
9月	1.99	-0.13	1.25	0.03	1,280	-13.5	563	-17.1	-	-	-	-	-
10月	2.21	0.21	1.27	-0.01	1,215	-12.5	657	-6.7	-	-	-	-	-
11月	1.82	-0.36	1.28	-0.07	1,137	-9.4	681	-2.6	55.8	45.0	54.2	53.4	-
12月	2.83	0.09	1.39	-0.07	1,161	-5.2	695	4.6	-	-	-	-	-
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-	-
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3	-
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-	-
4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-	-
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8	-
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-	-
7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-	-
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2	-
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-	-
10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-	-
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1	-
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-	-
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8	-
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業チャレンジ課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				



## 2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和5年第Ⅰ四半期（1～3月）の状況）

### （1） C I（コンポジット・インデックス）

#### ① 概要

3月のCIは、先行指数が88.6、一致指数が96.2、遅行指数が89.5となった。

#### ② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 3月は88.6ポイントで、6ヵ月連続で下降した。

寄与度がプラスの指標は、新設住宅着工戸数（2ヵ月連続）、鉱工業在庫率指数（逆）（3ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、建築確認申請受付件数（2ヵ月振り）、新規求人倍率（2ヵ月連続）等の4指標であった。

【一致指数】 3月は96.2ポイントで、2ヵ月連続で下降した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業出荷指数（4ヵ月振り）、小名浜港輸入通関実績（3ヵ月振り）等の4指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資残高（4ヵ月振り）、公共工事受注額（4ヵ月連続）等の5指標であった。

【遅行指数】 3月は89.5ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、入湯税調定人員（2ヵ月振り）、雇用保険受給者実人員（逆）（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月連続）の1指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

#### ③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分	令和4年									令和5年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
<b>先行指数（C・I）</b>	95.9	86.3	98.0	94.3	92.5	95.1	94.2	93.1	92.9	91.2	91.0	88.6
前月差(ポイント)（寄与度合計）	3.64	-9.67	11.71	-3.70	-1.8	2.58	-0.90	-1.10	-0.21	-1.69	-0.20	-2.38
先行系列寄与度内訳												
1. 自動車新規登録台数	0.65	-1.10	1.13	1.67	-0.39	0.75	-0.03	0.28	0.55	0.33	0.47	0.26
2. 新設住宅着工戸数	1.35	-3.52	2.31	0.99	-1.78	1.92	-0.98	-0.12	1.83	-2.64	0.02	1.69
3. 建築確認申請受付件数	2.91	-3.62	3.67	-3.78	3.75	-0.89	0.97	0.32	-1.41	-0.67	0.12	-3.53
4. 鉱工業在庫率指数（逆）	0.26	0.38	-0.57	-0.09	-0.17	-0.54	-0.39	-0.01	0.07	-0.28	-1.89	0.90
5. 中小企業DI（全業種）	-0.01	-0.01	1.55	-0.04	-0.04	-0.02	-0.02	-0.02	-1.02	0.00	0.00	-0.77
6. 新規求人倍率	-1.55	-2.73	3.61	-2.55	-1.50	1.18	-0.65	-0.87	-0.34	1.48	-1.06	-1.03
7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.03	0.86	-0.04	-0.04	-1.75	-0.01	-0.01	-0.81	0.01	0.01	2.07	-0.03
8. 一致指数トレンド成分	0.05	0.06	0.04	0.13	0.12	0.18	0.20	0.12	0.11	0.10	0.07	0.11
<b>一致指数（C・I）</b>	90.0	94.1	95.2	96.0	97.2	98.6	100.4	98.1	97.8	99.8	99.1	96.2
前月差(ポイント)（寄与度合計）	5.82	4.13	1.06	0.78	1.25	1.35	1.81	-2.30	-0.32	1.99	-0.69	-2.84
一致系列寄与度内訳												
1. 公共工事受注額	0.01	-0.43	0.31	-0.12	0.48	-0.31	-1.82	0.09	-0.95	-0.69	-0.97	-1.79
2. 観光施設利用者指数	1.49	1.70	-1.10	0.83	-0.45	0.47	1.86	-1.84	0.69	0.16	-0.25	-0.04
3. 大型小売店等販売額	1.18	-0.46	0.33	-0.14	-0.32	-0.21	0.67	0.62	-1.82	1.45	-0.45	0.18
4. 鉱工業生産指数	-0.40	0.24	0.40	-0.16	0.89	-0.04	-0.95	0.98	-0.61	0.04	-0.45	-0.20
5. 鉱工業出荷指数	0.06	0.11	-0.02	0.25	0.45	-0.11	-0.41	0.42	-0.11	-0.10	-0.74	0.76
6. 小名浜港輸入通関実績	0.78	-0.03	0.26	-0.22	0.63	-0.13	0.41	0.03	0.72	-0.83	-0.26	0.55
7. いわき市中小企業融資残高	1.14	1.71	1.05	0.69	-0.48	1.79	1.79	-1.90	1.44	0.66	1.78	-1.88
8. 有効求人倍率	-0.07	0.04	0.37	0.09	0.38	-0.49	-0.28	0.05	-0.33	0.77	0.35	-0.60
9. 高速道路出入交通量	1.62	1.25	-0.54	-0.45	-0.33	0.39	0.54	-0.75	0.65	0.53	0.29	0.19
<b>遅行指数（C・I）</b>	76.0	79.3	77.1	81.5	85.3	85.6	87.5	87.7	85.1	88.5	85.8	89.5
前月差(ポイント)（寄与度合計）	0.40	3.36	-2.21	4.41	3.75	0.26	1.98	0.14	-2.59	3.41	-2.72	3.69
遅行系列寄与度内訳												
1. 入湯税調定人員	2.35	0.67	0.11	0.51	1.16	0.26	0.41	-0.30	-2.71	2.61	-2.74	1.40
2. いわき市中央卸売市場取扱高	-0.43	0.11	-0.04	1.19	-0.08	0.82	0.76	-0.42	1.80	-1.04	-0.30	0.82
3. 鉱工業在庫指数	-0.16	-0.27	0.70	0.45	0.90	0.59	-0.08	0.75	-0.21	0.26	1.25	0.20
4. いわき市中小企業融資利率	-2.31	1.10	-1.20	2.27	2.36	-2.08	-0.03	-0.25	-1.91	1.89	-0.02	-0.94
5. 法人市民税調定額	0.21	0.17	0.00	-0.72	0.45	0.00	0.92	0.18	0.19	-0.86	-0.15	0.96
6. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.70	1.54	-1.81	0.60	-1.15	0.50	-0.19	0.06	0.15	0.47	-0.83	1.13
7. 一致指数トレンド成分	0.04	0.05	0.04	0.11	0.11	0.17	0.18	0.12	0.10	0.09	0.07	0.11

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

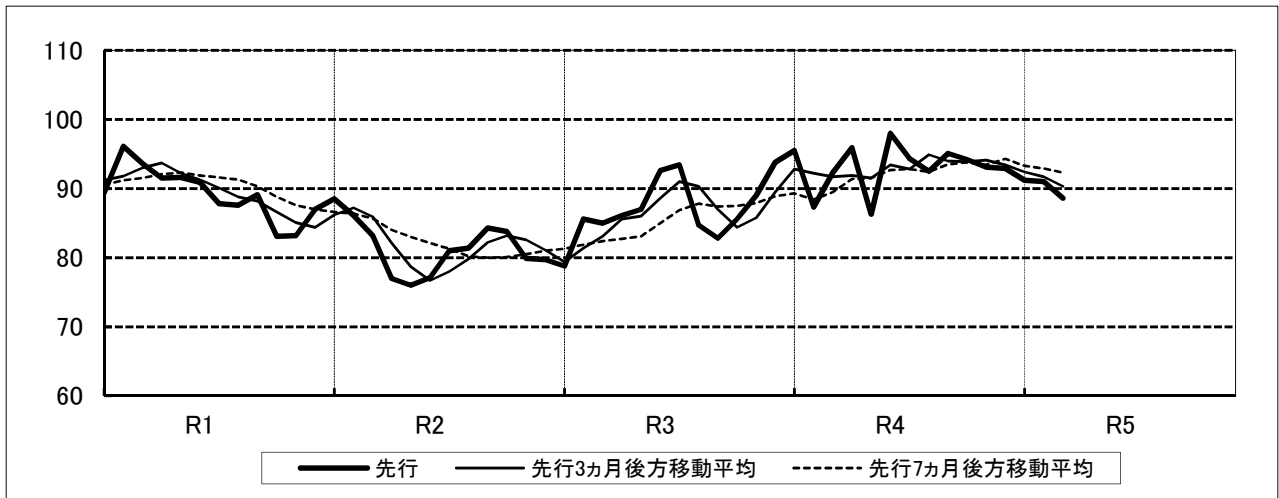
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

#### ④ CIの推移

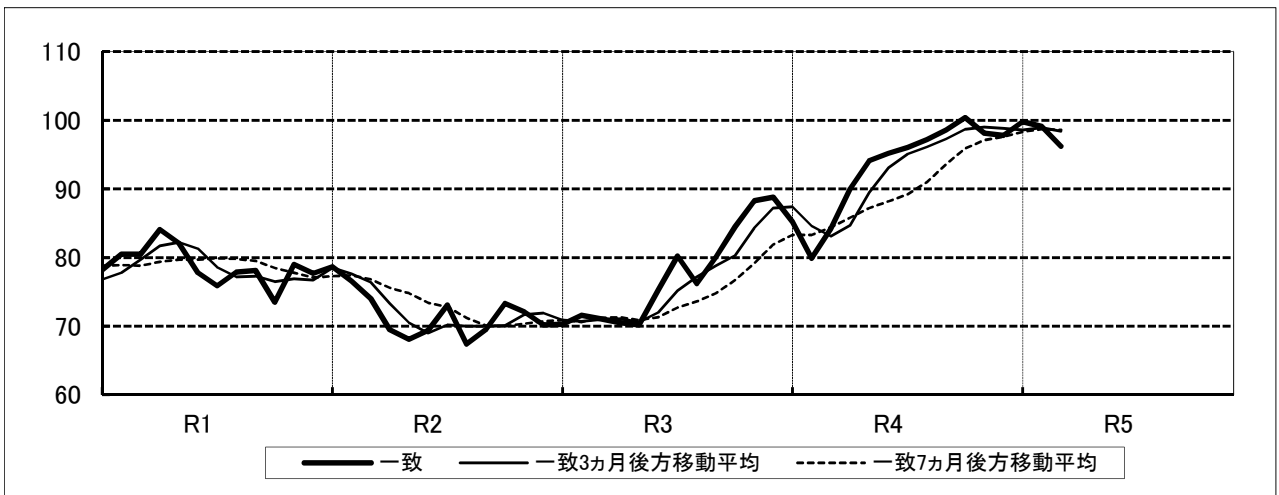
##### ・先行指数の推移

(平成27年=100)



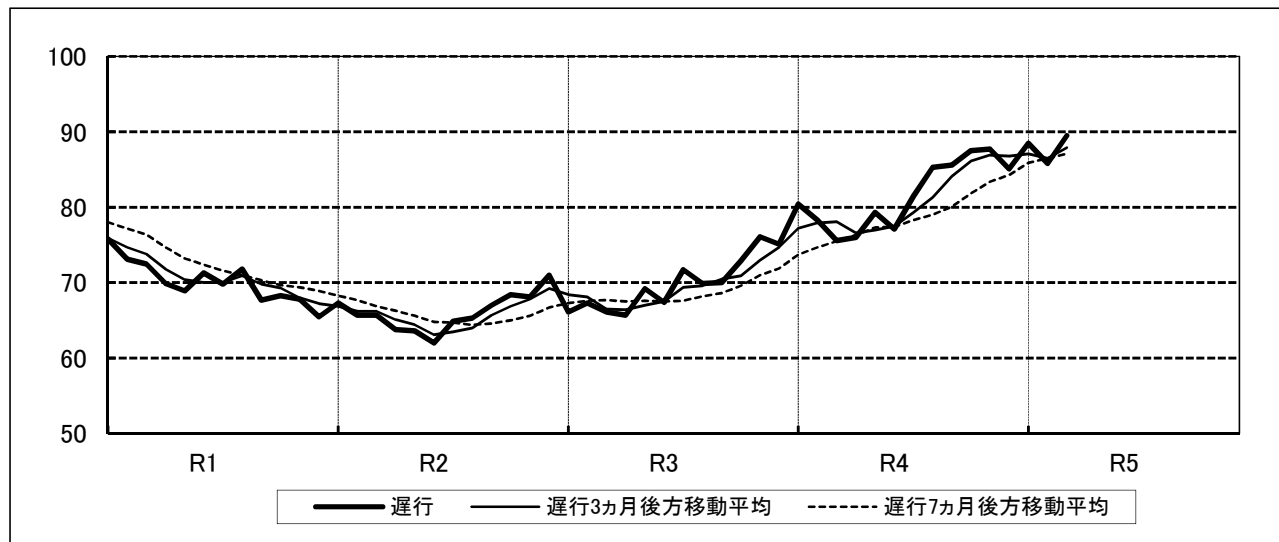
##### ・一致指数の動向

(平成27年=100)



##### ・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	118.3	126.9	125.2	107.9	116.7	110.8	111.6	110.8	110.0	109.8	105.0	109.7
27	109.4	101.0	105.3	99.6	97.2	100.0	99.7	98.6	98.5	98.9	98.6	93.0
28	95.2	89.9	84.4	91.3	90.6	86.1	91.7	87.4	83.0	88.2	87.5	90.7
29	85.8	88.7	89.7	91.8	89.7	96.3	89.7	95.1	97.1	91.3	90.4	95.4
30	94.6	93.4	91.5	93.0	93.4	92.4	91.2	91.5	86.8	90.1	94.3	90.0
1	89.4	96.1	93.6	91.5	91.6	90.9	87.8	87.6	89.1	83.1	83.2	87.0
2	88.5	86.1	83.2	77.0	76.0	77.1	81.0	81.4	84.3	83.8	79.9	79.7
3	78.8	85.6	85.0	86.1	87.0	92.6	93.4	84.7	82.8	85.6	89.0	93.8
4	95.5	87.3	92.3	95.9	86.3	98.0	94.3	92.5	95.1	94.2	93.1	92.9
5	91.2	91.0	88.6									

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	106.0	101.1	107.6	99.7	101.4	103.6	104.6	108.4	106.2	106.2	102.2	99.9
27	103.1	101.9	100.7	102.5	101.7	99.7	101.0	101.1	100.9	97.0	95.8	94.5
28	94.2	93.2	87.3	90.2	87.2	90.2	91.2	87.9	90.4	94.8	97.4	98.4
29	96.1	96.0	96.9	95.8	97.4	95.8	91.2	92.5	91.3	89.3	90.9	93.4
30	90.8	90.6	88.4	86.5	87.2	82.1	79.9	81.5	79.9	80.0	77.6	74.7
1	78.2	80.5	80.5	84.1	82.1	77.8	75.9	77.9	78.1	73.5	79.0	77.7
2	78.7	76.6	74.0	69.5	68.1	69.4	73.1	67.4	69.5	73.3	72.1	70.2
3	70.3	71.6	71.1	70.5	70.2	75.3	80.2	76.2	80.1	84.5	88.3	88.8
4	85.2	79.9	84.2	90.0	94.1	95.2	96.0	97.2	98.6	100.4	98.1	97.8
5	99.8	99.1	96.2									

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	100.8	103.0	100.4	102.5	106.8	105.4	102.0	100.7	97.7	98.5	98.6	100.9
27	101.0	100.7	106.2	103.3	102.5	98.9	100.9	98.6	99.3	98.8	95.1	94.6
28	93.6	97.3	93.4	92.3	90.3	88.8	88.5	89.7	87.8	89.5	86.8	85.7
29	88.3	82.0	86.1	83.1	79.3	78.8	78.3	76.1	79.6	77.0	78.9	81.1
30	76.7	76.3	80.4	78.3	83.3	81.5	78.6	78.5	81.6	79.6	76.7	75.4
1	75.8	73.1	72.5	69.9	68.9	71.3	69.8	71.8	67.7	68.3	67.8	65.5
2	67.3	65.7	65.7	63.8	63.6	62.0	64.9	65.3	67.0	68.4	68.1	71.0
3	66.1	67.3	66.1	65.7	69.2	67.4	71.7	69.9	70.0	72.9	76.1	75.1
4	80.4	78.3	75.6	76.0	79.3	77.1	81.5	85.3	85.6	87.5	87.7	85.1
5	88.5	85.8	89.5									

## (2) DI (デフレーション・インデックス)

### ① 概要

【先行指数】 3月は、35.7%と7ヵ月連続で50%を下回った。

【一致指数】 3月は、44.4%と2ヵ月連続で50%を下回った。

【遅行指数】 3月は、66.7%と2ヵ月振りに50%を上回った。

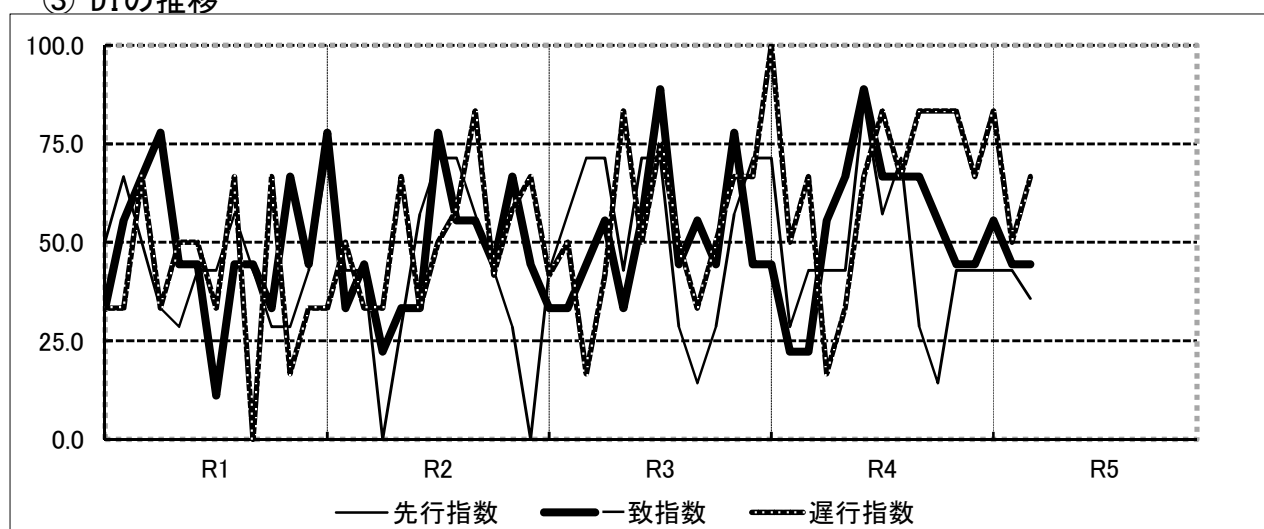
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (一景気動向指数利用の手引き-参照)

### ② DIの推移

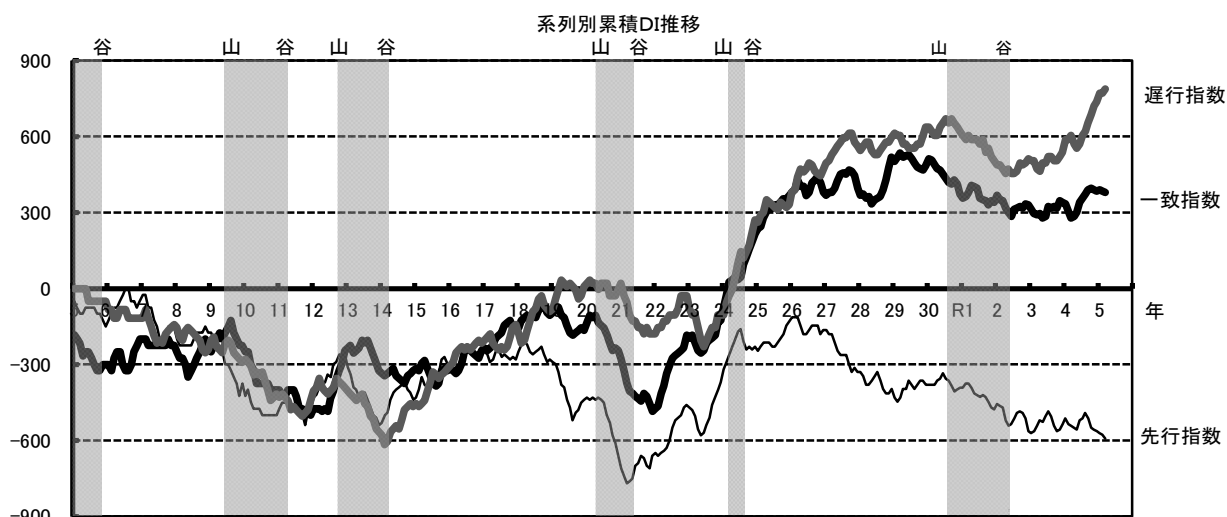
区 分	令和4年												令和5年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
先行指数 (D.I)	42.9	42.9	85.7	57.1	71.4	28.6	14.3	42.9	42.9	42.9	42.9	35.7			
一致指数 (D.I)	55.6	66.7	88.9	66.7	66.7	66.7	55.6	44.4	44.4	55.6	44.4	44.4			
遅行指数 (D.I)	16.7	33.3	66.7	83.3	66.7	83.3	83.3	83.3	66.7	83.3	50.0	66.7			

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(7指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

### ③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

## -景気動向指数利用の手引き-

### (1) 景気動向指数の概要

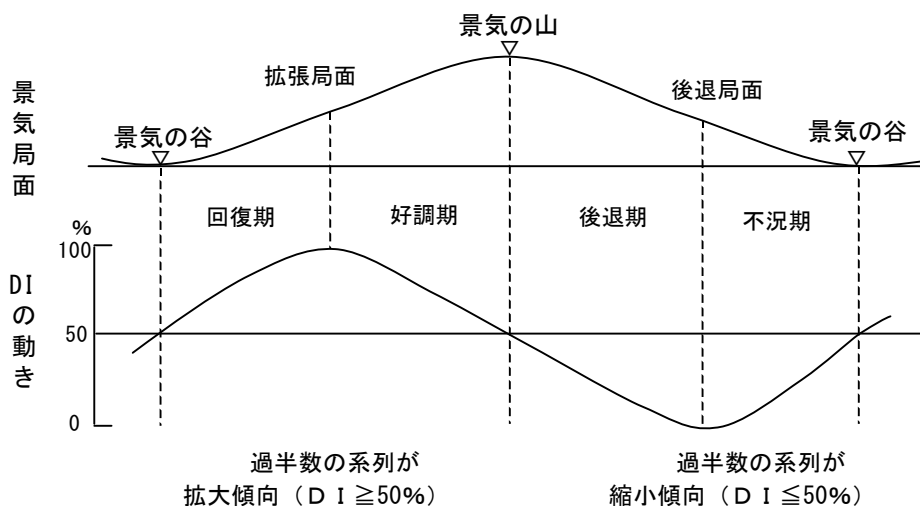
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

### (2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ [http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu\\_di.html](http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html)を参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

### (3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば  $3 \div 9 = 0.333$  (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



### (4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均  
 逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

## 【参考】国・県の動き

### 1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、持ち直している。</li> <li>・設備投資は、持ち直している。</li> <li>・輸出は、底堅い動きとなっている。</li> <li>・生産は、持ち直しの兆しがみられる。</li> <li>・企業収益は、総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・雇用情勢は、持ち直している。</li> <li>・消費者物価は、上昇している。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和5年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費……緩やかに持ち直している。</li> <li>・建設需要……高水準にあるものの、一部に弱い動きがみられる。</li> <li>・生産活動……一部に弱い動きがみられる。</li> <li>・雇用・労働……緩やかな改善が続いている。</li> <li>・物 価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。</li> <li>・企業・金融……企業倒産件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。</li> </ul> <p>(福島県「最近の県経済動向」令和5年5月公表分)</p>

### 2 景気動向指数(CI)

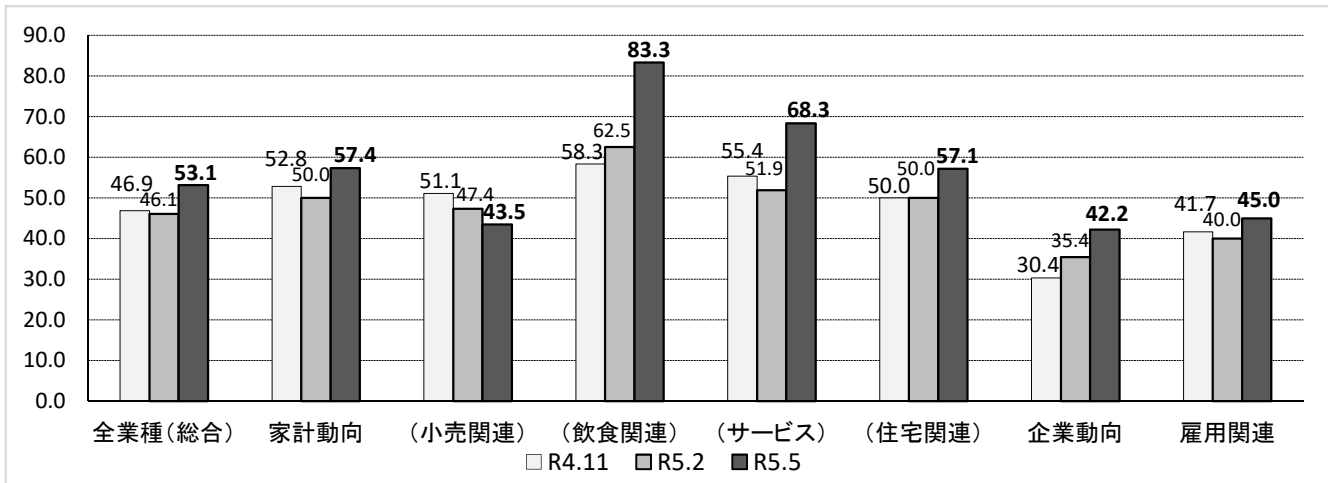
(1) 国の動向	<p>3月のCI(速報値・平成27(2015)年=100)は、先行指数:97.5、一致指数:98.7、遅行指数:99.4となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.7ポイント下降し、2カ月ぶりの下降となった。3カ月後方移動平均は横ばいとなった。7カ月後方移動平均は0.59ポイント下降し、11カ月連続の下降となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して横ばいとなった。3カ月後方移動平均は0.13ポイント下降し、6カ月連続の下降となった。7カ月後方移動平均は0.27ポイント下降し、3カ月連続の下降となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.5ポイント下降し、2カ月連続の下降となった。3カ月後方移動平均は0.06ポイント下降し、17カ月ぶりの下降となった。7カ月後方移動平均は0.12ポイント上昇し、13カ月連続の上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和5年5月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>3月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数107.3ポイント、一致指数75.1ポイント、遅行指数106.8ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(104.1ポイント)を3.2ポイント上回り、6カ月振りの上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月(75.9ポイント)を0.8ポイント下回り、2カ月連続の下降となった。</p> <p>遅行指数は、前月(106.1ポイント)を0.7ポイント上回り、3カ月振りの上昇となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>雇用保険受給者実人員、百貨店・スーパー販売額(既存店)、所定外労働時間指数(全産業)、生産財出荷指数</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>有効求人倍率、建築着工床面積(鉱工業)、最終需要財出荷指数、鉱工業生産指数</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和5年5月公表分)</p>

## Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和5年5月時点

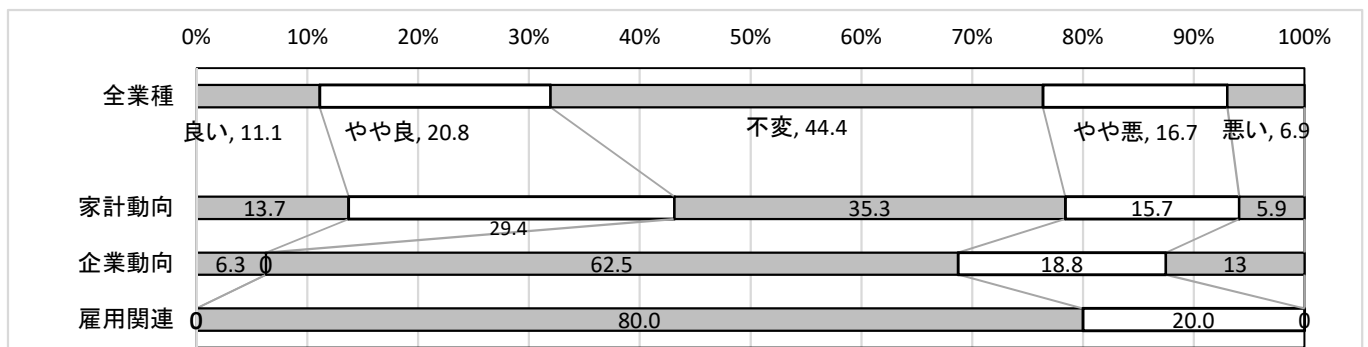
### 1 景気の現状について

#### (1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは53.1と、前回より7.1ポイント上昇した。内訳では、家計動向、企業動向、雇用関連のすべて上昇した。
- 主要業種別では、家計動向が57.4と前回より7.4ポイント上昇した。家計の内訳は、飲食、サービス、住宅関連が上昇し、小売が低下した。企業動向は42.2と6.8ポイント上昇し、雇用関連は45.0と5.0ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3か月前と比べて「良くなっている」は11.1%であり、「やや良くなっている」が20.8%、「変わらない」が44.4%、「やや悪くなっている」が16.7%、「悪くなっている」が6.9%となった。



#### (2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「求職者数の動き」などが多く挙げられた。

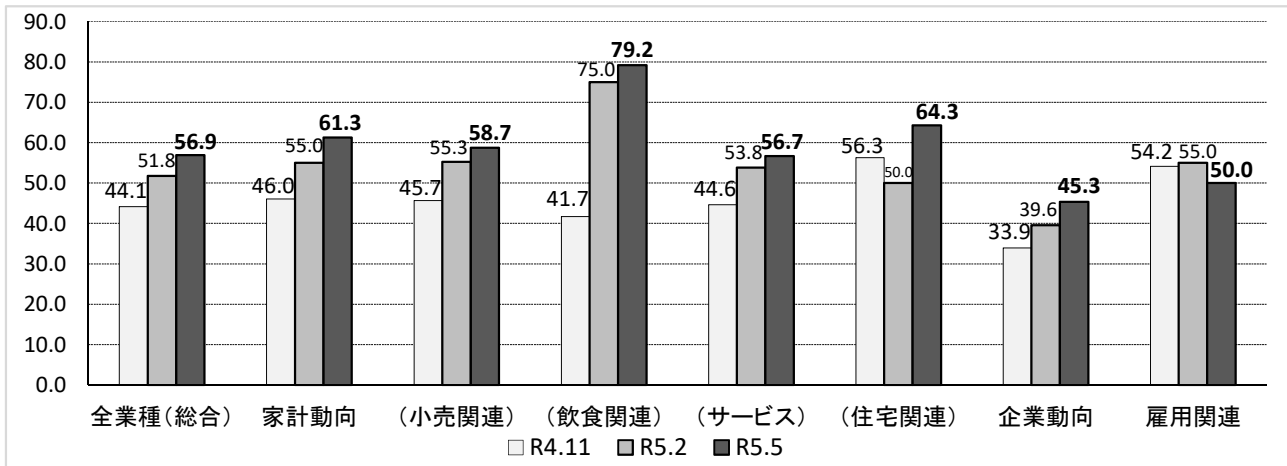
項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	13	3	4	20	1. 受注量や販売量	1	6	3	10	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	4	5	5	14	2. 受注価格や販売価格	0	0	1	1	2. 求職者数の動き	0	3	0	3
3. 単価の動き	0	5	0	5	3. 取引先の様子	0	3	0	3	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	5	3	1	9	4. 競争相手の様子	0	1	0	1	4. 周辺企業の動き	0	0	1	1
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	1	1	5. その他	0	0	0	0
6. その他	0	2	1	3										
合計	22	18	11	51	合計	1	10	5	16	合計	0	4	1	5



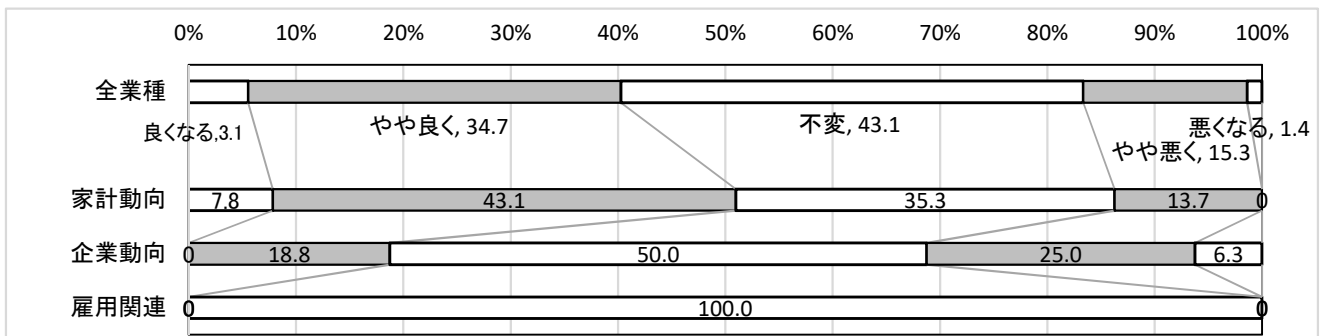
## 2 景気の先行きについて

### (1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは56.9と、前回より5.2ポイント上昇した。内訳では、家計、企業動向が上昇し、雇用関連が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が61.3と前回より6.3ポイント上昇した。家計の内訳では小売、飲食、サービス、住宅関連のすべて上昇した。企業動向は45.3と5.7ポイント上昇し、雇用関連は50.0と5.0ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が34.7%、「変わらない」が43.1%、「やや悪くなっている」が15.3%、「悪くなっている」が1.4%となった。



### (2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「求人数の動き」「求職者数の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	13	5	3	21	1. 受注量や販売量	1	3	3	7	1. 求人数の動き	0	2	0	2
2. 販売量の動き	3	1	0	4	2. 受注価格や販売価格	1	1	0	2	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	2	4	1	7	3. 取引先の様子	1	3	1	5	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	6	5	2	13	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	0	1
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	1	1	2	5. その他	0	0	0	0
6. その他	2	3	1	6										
合計	26	18	7	51	合計	3	8	5	16	合計	0	5	0	5

### 3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。  
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。  
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

#### (景気の現状や街の様子等について)

- お客様の表情が見えるようになった。
- コロナの人数も少し減少してきたので、お客様が戻りつつあるように思う。
- コロナが5類になり、人の往来が活発化している。ただ旅行支援等の影響が大きいので、その反動は大きい波となってやってくる。夏休みにどれだけの移動があるのか注視している。
- 出かける機会も増えていく中、来街者、来店数も以前より多く見られ、今後、消費の伸びにも期待したいと思う。
- 季節的な影響で売上が変化している。4月～8月までが一番の閑散期である。
- 全般的に物の消費は上昇していると感じる。自動車業界は、例年この時期は動きが少ないので、業種によって差があるかもしれない。

#### (物価上昇等)

- 石油価格の上昇により、それに関連する製品、商品の価格も上げざるを得ない状況の中では、景気が良くなる要素を考える事が出来ない。景気の回復につながる「何か」を考えてみたが、思いつかなかった
- 物価が上昇しても賃金はそのままなので個人消費は伸びない。
- 弁当販売については、スポーツ大会、イベントなどの開催が増え、注文は増加している。しかし、原材料、電気、人件費などが大幅に増えているため、収益は悪化している。
- 光熱費の高騰、物価の高騰により企業もお客様も疲弊してしまっている。
- 衣料品の業種も値上げの動きがあり、今後どの様な状況になるか心配である。
- 市内飲食店は静か。物価高騰により不景気すぎる。不景気が上向きにならない限り無理。

#### (景気の先行きに対する不安など)

- 回復が遅い。
- 景気は人の動き、飲食店の駐車場等良い方向に向かっている印象はあるが、それが实体经济に結びつくかは時間を見ないと分からない。
- 年度頭という事もあり、建設資材関連の引合が多い。しかしながら、公共・民間共に2023年度全体的には、厳しい一年となりそう。
- 人手不足が深刻。
- 人材採用については、今後とも大変厳しいと考える。
- 経営相談に来訪する事業者様の相談内容が、「運転資金が枯渇してでも、金融機関が追加融資してくれない」とか「コロナ融資を受けて手を付けないでいたが、それに手を付けざるを得ない」「喫緊の支払いができない。すぐに資金調達ができないか」というものが多くなっていることから、景気の回復が全く見えてこないと感じている。
- 全国旅行支援、県民割りなどの終了に伴う反動。

## - いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

### (1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

### (2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連77人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計108人を調査客体とする。今回（令和5年5月）の調査の回答数は72人（有効回答率66.7%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	77人	71%	51人	
小売関連	34人	31%	23人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	6人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	26人	24%	15人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	7人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	16人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	5人	人材派遣、職業紹介等
合計	108人	100%	72人	

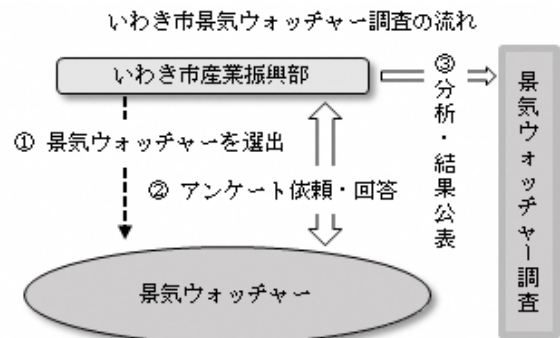
### (3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

### (4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



### (5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

<b>いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）</b>	
	令和 年 月 日
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
<b>該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。</b>	
<b>【質問1】</b> 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
<b>【質問2】</b> 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【質問3】</b> あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
<b>【質問4】</b> 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【自由回答（市内景気動向に関して）】</b>	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外



---

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地  
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)  
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp

---